

2023年度(第36期)レスポンシブル・ケア推進方針

当社は、持続可能な社会への貢献を見据え、CSRの主要な柱であるレスポンシブル・ケア活動に対して、日本農業グループレスポンシブル・ケア中期目標(2020年4月～2025年3月)の4年目として、以下の方針で取り組みます。

< 各コード共通の推進方針 >

当社は、「安全は全ての礎」との意思統一のもと、関係法令や規則を遵守するとともに、標準作業手順(SOP)に基づきISOマネジメントシステムを確実に運用し、「環境・安全・健康・品質・地域との対話」を柱としたレスponsibl・ケア活動に積極的に取り組みます。

< 労働安全衛生コードの推進方針 >

当社は、ISO45001のマネジメントシステムを確実に運用し、SOPに基づく作業と安全教育を徹底して、あらゆる労働災害の未然防止に努めます。

また、従業員の心の健康にも配慮して、充実感がみなぎる快適な職場環境作りを進めます。

< 保安防災コードの推進方針 >

当社は、危険予知活動やリスクアセスメントを積極的に推進し、安全教育と設備保全も計画的に実施して、火災や爆発、化学物質漏洩など各種災害の未然防止に努めます。また、大規模災害など緊急事態の発生に備え、定期的な防災訓練・教育を実施します。

< 環境保全コードの推進方針 >

当社は、ISO14001のマネジメントシステムを確実に運用し、生産・物流事業活動においてエネルギー使用の効率化と、化学物質排出量、廃棄物発生量及びCO₂排出量の削減を進めます。

また、事業所周辺地域から地球環境までを視野に入れた環境保全に努めます。

< 物流安全コードの推進方針 >

当社は、物流事故による災害を未然に防ぐため、製品容器等に適切な表示を行う等、荷主として物流業者の方々に適切に配慮します。また、イエローカード、ホワイトカード等により安全情報を提供してトラブル防止に努めるとともに、物流業者との情報交換を密にして、物流における品質確保に努めます。

< 化学品・製品安全コードの推進方針 >

当社は、ISO9001のマネジメントシステムを確実に運用し、あらゆる製品の安全品質の継続的改善に取り組み、品質と顧客満足の向上を目指します。また、日本農業株式会社と連携して製品・化学物質に関するリスク管理を行い、生産から最終消費・廃棄・リサイクルまでに係わる全ての方々に、適切な製品安全情報を提供します。

< 社会との対話コードの推進方針 >

当社は、レスポンシブル・ケア活動の成果を、日本農業株式会社のレポートやホームページを通じてステークホルダーに公表します。また、地域の活動や社会貢献活動への参加を通じて、継続的に社会との交流を進め、相互理解を深めます。



2023年 4月 1日
株式会社ニチノーサービス

代表取締役社長

石井 功